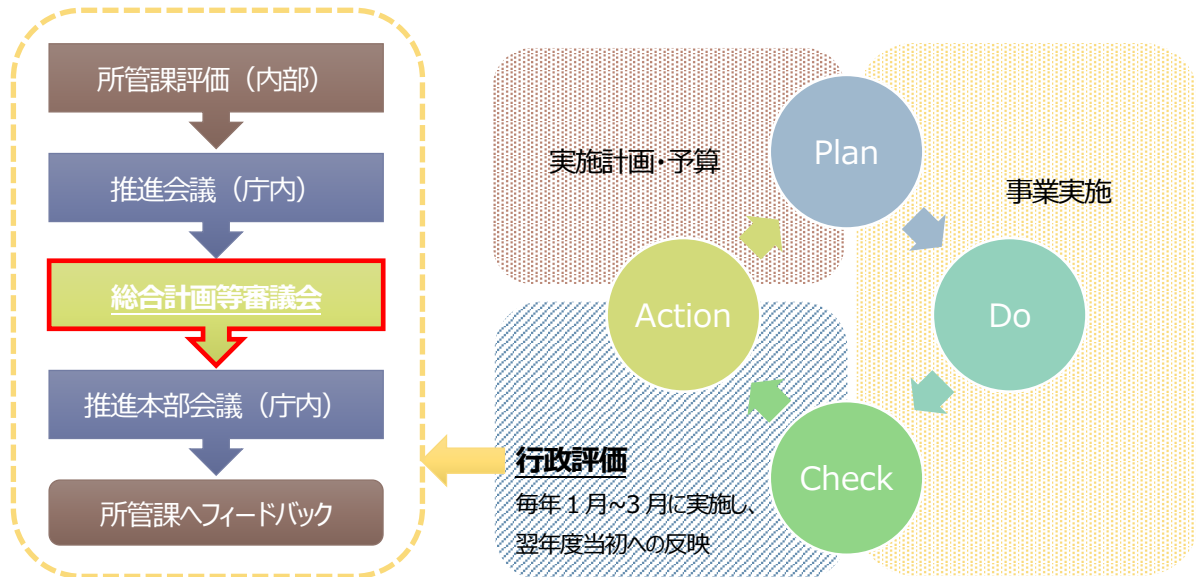


## 庁内における行政評価の結果概要について

### 1 趣 旨

- 令和3年4月にスタートした第6次基本構想・第1期基本計画、第2期キラと輝く創生総合戦略（以下「基本計画等」という。）を着実に推進するため、毎年度行政評価を実施。

#### 【PDCA サイクル】



- ・基本計画等の策定段階から、ロジックモデル（目指す状態とそのため的手段を整理）を作成し、成果指標（数値目標・KPI・KSF※）を設定することで、その進捗状況を適時確認できるよう設計。

※KPI：数値目標達成のために重要となる施策の目標値 KSF：KPI 達成のために重要となる取組の目標値

### 2 評価方法

- R4年度の取組を踏まえ、①「これまで（R4年度）の成果及び効果」、②「課題及び次年度の方向性」の2点を明らかにすることを目的に実施。

【評価対象：基本施策 131本（基本計画 119本、総合戦略 12本）】※詳細 別冊行政評価シート参照

- 評価フロー：所管課による自己評価・検証⇒推進会議及び総合計画等審議会にて審議
- 基本施策の達成のため実施する取組の進捗状況を3段階評価し、その合計点により基本施策を5段階で評価。

【取組の評価区分】 ※具体的な取組の進捗状況により、取組ごとに3段階（A～C）評価

- A：予定を上回り、順調に進捗している。  
 B：予定のとおりに進捗している。  
 C：進捗に遅れが出ている。

【基本施策の評価区分】 ※取組評価の合計点により、基本施策を5段階（5～1）評価

- 5：大きく進展している。  
 4：順調である。  
 3：概ね順調である。  
 2：多少遅れが出ている。  
 1：大幅に遅れが出ている。

### 3 評価結果（分野別、基本施策ごと）

分野	分野名	評価区分※1					総計	R4 分野別 平均評価点	R3 分野別 平均評価
		1	2	3	4	5			
分野 1	子ども・子育て支援			2	2		4	3.5	3.0
分野 2	子ども・若者支援				2		2	4.0	3.0
分野 3	学校教育			3	1		4	3.3	3.3
分野 4	地域福祉			1	1	1	3	4.0	3.3
分野 5	高齢者福祉			6	1	1	8	3.4	2.8
分野 6	障がい福祉			1	4	1	6	4.0	3.8
分野 7	健康づくり			4	2		6	3.3	3.0
分野 8	スポーツ			1	5	1	7	4.0	3.1
分野 9	文化芸術・文化財			3	3		6	3.5	3.0
分野 10	生涯学習			4			4	3.0	2.3
分野 11	人権・男女共同参画			2			2	3.0	4.0
分野 12	地域コミュニティ		1	2			3	2.7	2.3
分野 13	多文化共生・国際交流			2	1		3	3.3	3.0
分野 14	防犯・交通安全			5			5	3.0	2.8
分野 15	市民相談・消費生活			2			2	3.0	3.0
分野 16	土地利用			3			3	3.0	3.0
分野 17	道路		1	1			2	2.5	2.5
分野 18	治水			2			2	3.0	3.0
分野 19	水道			4			4	3.0	3.0
分野 20	下水道		2	1			3	2.3	2.3
分野 21	公共交通			2			2	3.0	2.5
分野 22	環境			4	1	1	6	3.5	3.2
分野 23	公園・緑		1	3	1		5	3.0	2.8
分野 24	住環境			3	1		4	3.3	2.3
分野 25	商工			5		1	6	3.3	3.0
分野 26	農業			3	1		4	3.3	3.8
分野 27	就労			1	1		2	3.5	3.0
分野 28	シティプロモーション			1	1		2	3.5	3.0
分野 29	危機管理			2	2	2	6	4.0	3.2
分野 30	総合行政			3			3	3.0	3.3
総合戦略			2	8	2		12	3.0	3.0
総 計		0	7	84	32	8	131	3.3	3.0

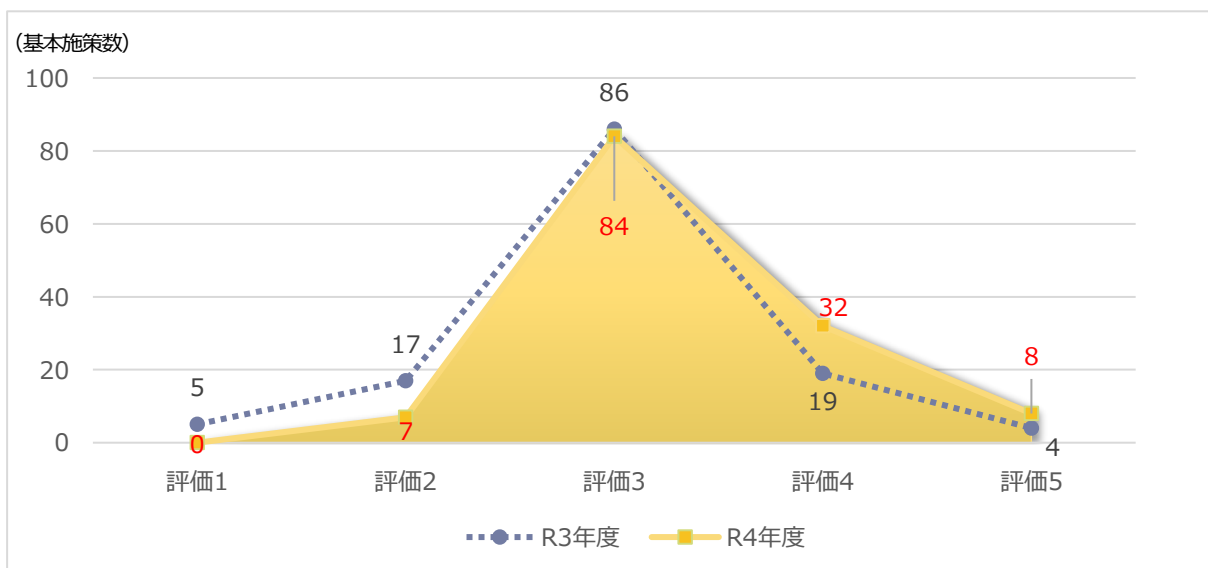
※1 【評価区分】(再掲)

5：大きく進展している。 4：順調である。 3：概ね順調である。 2：多少遅れが出ている。 1：大幅に遅れが出ている。

※2【「実りある暮らし」、「充たされたつながり」、「恵まれた生活環境」、「成長の継続」】

第6次基本構想に定める理想の“未来”「充実した日々」を構成する要素として整理したもの。計画冊子 P9 参照

## 【R3 年度評価との比較】



年度	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	平均評価点
R4年度	0	7	84	32	8	3.3
R3年度	5	17	86	19	4	3.0

### 【全体概要】

- ・全体的な評価結果は R3 年度（昨年度）より順調となった。（全体平均評価点 R3 年度 3.0⇒R4 年度 3.3）
- ・R4 年度は、R3 年度の評価低迷の要因となっていた、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、予定通りの事業展開が可能となったことから、参加者数や開催回数などを指標としている数値が向上し、全体として評価が改善した取組が多い結果となっている。

### 【評価が高かった分野】

- ・分野別平均評価点が 4.0 以上となったものが 5 分野（分野 2：子ども・若者支援、分野 4：地域福祉、分野 6：障がい福祉、分野 8：スポーツ、分野 29：危機管理）となっている。

#### ○評価が高かった分野の進捗理由

##### 分野 2：子ども・若者支援

中高生の学習支援の利用者や子ども・若者の居場所（子ども食堂、学習支援など）の活動回数などが着実に増えているほか、学び直し相談などの相談者も増加傾向にあるため。

##### 分野 4：地域福祉

コロナ禍の影響もあるが、生活サポートセンター☆ふじみの活動や、一時的な収入減少者に支給する住居確保給付金の支給件数が増加したこと、ボランティアへの個人登録が進んだため。

##### 分野 6：障がい福祉

グループホームなどの施設整備が進んだことや、障がい者の就労相談件数が目標件数を超えたため。また、あいサポートイベントなどの参加が増加するなど、障がい者との交流機会を増やすことができたため。

##### 分野 8：スポーツ

新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による事業実施に伴い、指標としていた「運動公園等の利用者数」や、「大会等の出場者に対し奨励金交付数」などについて、目標値を超え、大きく伸ばすことができたため。

##### 分野 29：危機管理

地域の防災リーダーの養成が進んだことや、災害用備蓄品の改善（液体ミルクの導入）、防災訓練や国民保護訓練の実施など、自助・共助・公助の観点など、全体的に進捗したため。

分野	分野名	R4 分野別平均評価点	R3 分野別平均評価点
分野 2	子ども・若者支援	4.0	3.0
分野 4	地域福祉	4.0	3.3
分野 6	障がい福祉	4.0	3.8
分野 8	スポーツ	4.0	3.1
分野 29	危機管理	4.0	3.2

### 【評価が低かった分野】

・分野別平均評価点が 3.0 を下回ったものが 3 分野（分野 12：地域コミュニティ、分野 17：道路、分野 20 下水道）となっている。また、この 3 分野については、2 年連続で分野別平均評価点が 3.0 を下回っている状況となっている。

#### ○評価が低かった分野の遅延理由

##### 分野 12：地域コミュニティ

地域まちづくり協議会の設立支援について、町会活動が完全に復活していないことなどから、情報収集にとどまったため。

##### 分野 17：道路

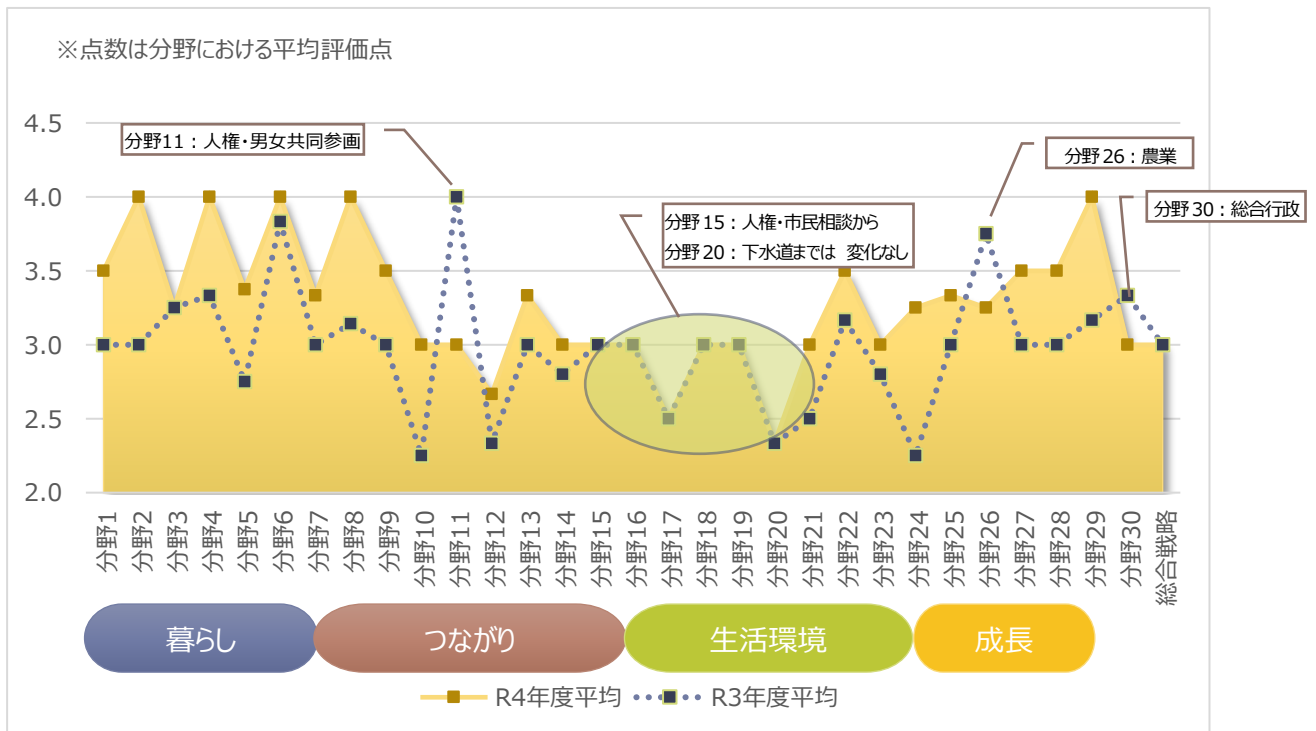
幹線道路の整備について、地権者との交渉に時間を要し、事業進捗が行われていなかったため。

##### 分野 20：下水道

公共下水道の普及に向けた管渠整備について、既存管渠の老朽化や耐震化の対策件数が増加し、その対応を行ったことから、遅れが生じているため。

分野	分野名	R4 分野別平均評価点	R3 分野別平均評価点
分野 12	地域コミュニティ	2.7	2.3
分野 17	道路	2.5	2.5
分野 20	下水道	2.3	2.3

## 4 評価結果（分野別の R4 年度評価結果と R3 年度評価結果との比較）



- ・分野別に見ると、R3 年度結果を下回る分野（分野 11：人権・男女共同参画、分野 26：農業、分野 30：総合行政）はあるものの（※下回った結果は、評価 3 以上を維持している。）、全体の 66%にあたる 20 分野が、R3 年度より結果が向上した。
- ・分野 15：市民相談・消費生活から分野 20：下水道までは R3 年度結果と同様の結果となっている。
- ・主に「暮らし」・「つながり」・「成長」につながる分野において、改善傾向が強く、「生活環境」につながる分野においては R3 年度と同様の結果となっている。

【R3 年度より大きく評価点が上がった分野】 ※R3 年度結果より 0.5 ポイント以上改善

○R3 年度より大きく評価点が上がった分野の理由

**分野 1：子ども・子育て支援**

放課後児童クラブの整備が進み、待機児童「0」を継続できたことや、特色ある幼児教育が市内すべての幼稚園で行われるなどの進捗が図られたため。

**分野 4：地域福祉（再掲）**

コロナ禍の影響もあるが、生活サポートセンター☆ふじみの活動や、一時的な収入減少者に支給する住居確保給付金の支給件数が増加したこと、ボランティアへの個人登録が進んだため。

**分野 5：高齢者福祉**

新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による事業実施に伴い、高齢者学級の参加者数が伸びるなどしたほか、施設整備や介護人材の確保の取組が進んだため。

**分野 8：スポーツ（再掲）**

新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による事業実施に伴い、指標としていた「運動公園等の利用者数」や、「大会等の出場者に対し奨励金交付数」などについて、目標値を超え、大きく伸ばすことができたため。

**分野 9：文化芸術・文化財**

新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による事業実施に伴い、各種文化祭が実施されたことや、市民の文化芸術活動に対する支援が行えたため。

**分野 10：生涯学習**

新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による事業実施に伴い、取組実績を増やせたことで R3 年度より改善したほか、施設整備や介護人材の確保の取組が進んだため。

**分野 21：公共交通**

R3 年度は公共交通の現状に係る検証作業が進まなかったが、今年度はデマンドタクシーの検証作業や、バスのダイヤ改正を実施できたため。また、放置自転車の数が目標値を超え、R3 年度よりも減少したため。

**分野 27：就労**

働き方改革に関する取組に対する支援事業所数が、目標値を超え、R3 年度より増加したほか、中小企業チャレンジ支援事業のテレワーク整備環境支援も活用されたため。

**分野 28：シティプロモーション**

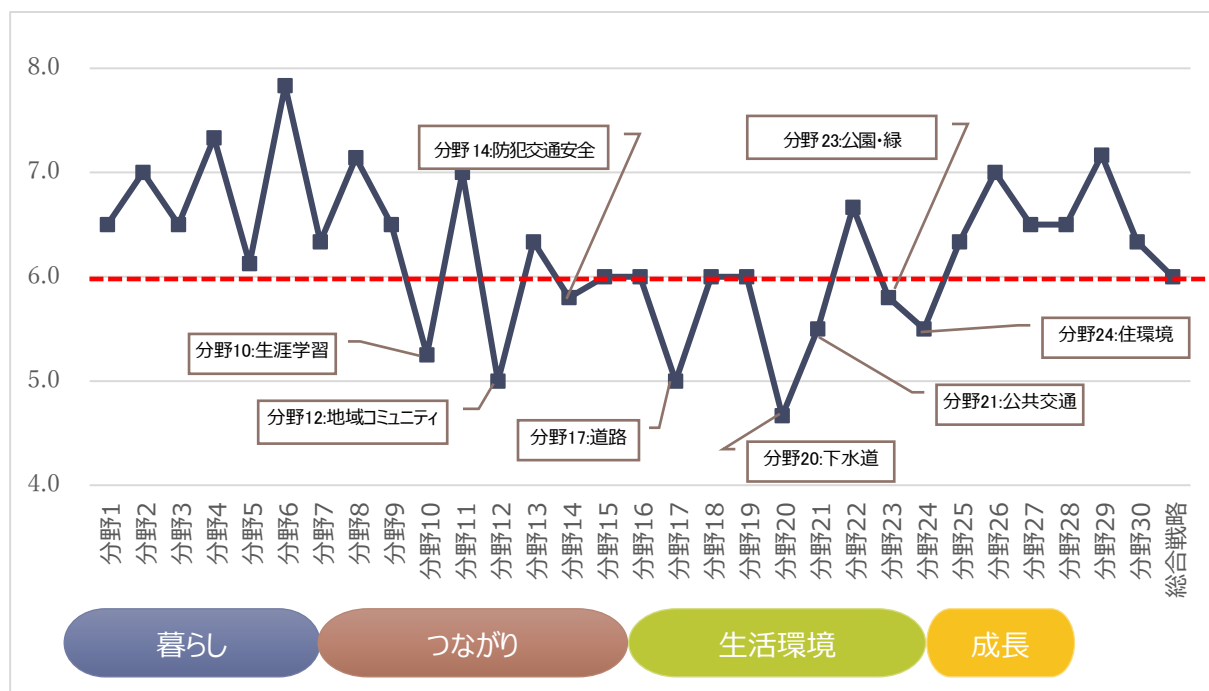
情報発信において、ららぽーと映画館でのシネマアドバタイジングや東武東上線電車広告の実施、市制施行 50 周年記念 PR 冊子の作成などに取り組み、市の認知度が着実に向上したため。

**分野 29：危機管理（再掲）**

地域の防災リーダーの養成が進んだことや、災害用備蓄品の改善（液体ミルクの導入）、防災訓練や国民保護訓練の実施など、自助・共助・公助の観点など、全体的に進捗したため。

分野	分野名	R4 分野別平均評価点	R3 分野別平均評価点	差
分野 1	子ども・子育て支援	3.5	3.0	0.5
分野 4	地域福祉	4.0	3.3	0.7
分野 5	高齢者福祉	3.4	2.8	0.6
分野 8	スポーツ	4.0	3.1	0.9
分野 9	文化芸術・文化財	3.5	3.0	0.5
分野 10	生涯学習	3.0	2.3	0.8
分野 21	公共交通	3.0	2.5	0.5
分野 27	就労	3.5	3.0	0.5
分野 28	シティプロモーション	3.5	3.0	0.5
分野 29	危機管理	4.0	3.2	0.8

## 参考【各分野の2年間の平均評価点の合計】



- ・2年間の平均評価点はおおむね6.0（平均3.0×2年間）を超えていた場合、おおむね順調に進捗しているものと推測できる。
- ・2年間の合計が6.0を下回ったのは、8分野（分野10：生涯学習、分野12：地域コミュニティ、分野14：防犯・交通安全、分野17：道路、分野20：下水道、分野21：公共交通、分野23：公園・緑、分野24：住環境）となっている。
- ・主に「暮らし」、「成長」につながる分野では進捗しているものの、「つながり」、「生活環境」につながる分野において遅れが生じている傾向となっている。

分野	分野名	R4 分野別平均評価点	R3 分野別平均評価点	合計
分野10	生涯学習	3.0	2.3	5.3
分野12	地域コミュニティ	2.7	2.3	5.0
分野14	防犯・交通安全	3.0	2.8	5.8
分野17	道路	2.5	2.5	5.0
分野20	下水道	2.3	2.3	4.7
分野21	公共交通	3.0	2.5	5.5
分野23	公園・緑	3.0	2.8	5.8
分野24	住環境	3.3	2.3	5.5